

校内研修計画

甲州市立塩山南小学校

1 学校課題

- ①異学年集団や友だち同士のかかわり合いを大切にした取り組みを行う中で、互いに認め合い協力し合う姿が見られるようになってきた。またQ-Uの結果を学年で考察分析し、その後の活動に生かすことができたことにより、個々の持っている力を発揮できるようになるなど、「学び合う学級集団」が育ってきている。
- ②好奇心旺盛で、学習意欲についても高い児童が多いが、近年発達障害児及びその傾向児童が増加し、学習指導及び生徒指導において問題が多くなってきている。また、教科指導においては個に応じた指導（個性化個別化）に心がけているが、現実にはゆとりが無く十分な指導とまでは至っていない。
- ③学力面、健康面、ものの見方や考え方、家庭での生活習慣にはかなりの個人差があり、一斉指導における集中力の持続や、姿勢、学習規律の定着・向上などに大きな課題がある。
- ④全国学力学習状況調査や県学力状況調査の結果から、論理的な文章の読解や考え方を問う記述式の問題に対して課題も多いが、基本的な四則演算や語彙力を問う問題に対しても誤答が多く、授業過程の工夫や家庭学習のあり方を再確認していく必要がある。

2 研究主題

「確かな学力の定着を目指した授業改善の工夫」（1年次）

～ 学ぶ楽しさや分かる喜びを味わえる効果的なPDCAサイクルを通して ～

3 主題設定の理由

新学習指導要領では、「知識基盤社会」を生き抜く「確かな学力」を、すべての児童生徒に確実に身につけさせることが求められている。現在の教科書は、平均して25%ページ数が増えている。これは、当然教える内容が増えているということだが、ゆとりの無い時間割（教育課程）の中で、定められた学習内容をすべて身につけさせるには、昨年まで取り組んできた「どの子にもわかる授業」を仕組んでいかなければならない。それに加えて今年度は「授業改善プラン実践事業」の研究指定を受け、県や市からの授業改善プランの活用・実践を通して、本校独自の授業改善プランを作成し、児童の確かな学力の定着が研究の大きな柱となる。さらに、作成した「授業改善プラン」を活用し、研究成果の普及を通して、近隣小中学校の授業改善を促し、児童生徒の確かな学力の定着と向上を図っていくことが大切である。

本校の子どもたちの実態を見ると、学力面、健康面、ものの見方や考え方、家庭での生活習慣にかなりの個人差があることが課題として挙げられた。生活習慣と学力には相関関係があることから、家庭での生活実態を調査し把握した上で、家庭と連携しながらその改善や家庭学習の定着を図り、学力の向上につなげていきたい。

また今までの研究の過程で、効果的に「わかる授業」を進めるためには、根底に集団づくり（学習規律・認め合う雰囲気）が必要であることが確認され、学習規律の共通確認やQ-U検査を活用した集団づくりに取り組んできた。今年度も学習規律をさらに徹底していく中で、Q-U検査を活用し、学級集団や個々の児童の実態を把握しながら、課題やその対応策について研究・実践を行い、集中して学習に取り組める学級集団づくりを目指していきたいと考え研究主題を設定した。

4 研究の内容と方法

- ①児童の教科及び生活習慣や学習習慣の状況把握と改善すべき課題を整理した上で、独自の授業改善プランの作成
 - ・全国学力学習状況調査（6年）県学力把握調査（3・5年）教育課程実施状況調査（6年）
- ②授業改善プランを取り入れた PDCA サイクルの作成
- ③授業改善プランの公開
- ④学力向上フォーラムにおいて、研究成果の交流・普及
- ⑤Q-U 検査の結果を K-13 法により分析し、その成果を活用した集団づくり
- ⑥家庭での学習のあり方・保護者との連携

5 年間校内研修計画

研究主任 小椋 規雄

回	月	日	担 当	研 究 内 容	TC
1	4	9	全体会	授業改善プラン実践事業の概要について	
2	4	16	全体会	授業改善プラン実践事業の概要について	
3	4	22	全体会	研究主題、研究内容、具体的方法について 部会長・ブロック長・授業者の決定	
4	4	30	全体・部会	年間計画・部会の研究内容や見通しについて	
5	5	14	部会	県学力調査採点・生活習慣実態把握に向けて	
	5	20		第1回授業改善プラン実践事業推進委員会	
6	5	28	全体会	事業についての学習会（事務所・市教委指導主事招聘）	○
7	6	11	全体会	改善プランについての学習会（県指導主事招聘）	○
8	6	20	全体会	Q-U検査1回目の分析（K-13法）	
9	6	27	ブロック	県学テの考察及び改善プランの検討	
10	7	2	全体会	授業改善プラン実施状況中間交流Ⅰ	
11	7	23	ブロック	全国学テの結果からの考察・本校の課題検討	
12	8	1	ブロック・部会	Q-U検査1回目の分析（K-13法） 授業改善プラン作成	
	8	4		第2回授業改善プラン実践事業推進委員会	
13	8	20	全体会・部会	教育課程説明会環流報告 部会作業	
14	9	3	部会	部会作業（今後の改善プランについて） 授業の方向性	
15	9	10	部会	部会作業（今後の改善プランについて） 授業の方向性	
16	9	17	全体会	学力向上フォーラムへ向けて	
17	10	8	ブロック	授業案検討① 授業改善プランについて	
	10	9		学力向上フォーラム2014	
18	10	29	ブロック	授業案検討② 授業改善プランについて	
19	11	5	全体会	授業案検討③	○
20	11	21	全体会	公開研究授業ⅠⅡⅢ Ⅰ 1年3組 奥山 美恵 教諭 《国語科》 Ⅱ 4年2組 小川 壮太 教諭 《算数科》 Ⅲ 6年2組 廣瀬 哲也 教諭 《社会科》	○
21	12	10	ブロック	授業のまとめ 授業改善プランの見直し	
22	1	28	全体会	研究のまとめ（成果・課題）	
	2	10		第3回授業改善プラン実践事業推進委員会	
23	2	25	ブロック・部会	研究のまとめ（今年度の検証・CRT分析）	
24	3	4	全体会	研究のまとめ（成果・課題）来年度の方向性等	